JIDA　第6回　JIDAプロダクトデザインセミナー

3Dプリンターはデザイナーにとって本当に有効なツールなのか？

ここ数年、過剰なブームともいえる３Ｄプリンター。実際はデザイナーにとって、どれだけのメリットが発生しているのであろうか？ 使い方次第では魔法の箱にもなり得るが、ポイントがずれればただの箱になりかねません。

日本のラピッドプロトタイピングでの第一人者である原雄司氏と、実際に３Ｄプリンターを導入し活躍している澄川伸一氏が、これまでの技術的な流れと現実的なプロダクトデザインでの使用例を紹介しながら、現状でのメリットとデメリット、実践的な側面と理論的な可能性、将来のものづくりの姿まで、本音のトークセッションを繰り広げます。

これまでになかった濃い内容の３Ｄプリンターのシンポジウム。来場の皆様のコミュニケーションタイムも設けますので、是非お誘い合わせの上ご参加ください。

9月27日（金）

東京ミッドタウン・リエゾンセンター

17:50　開場
18:20　トークセッション
19:35　質疑応答
19:50　休憩
20:00　コミュニケーションタイム
20:40　終了

協力：公益財団法人 日本デザイン振興会
主催：公益社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会

原 雄司

株式会社ケイズデザインラボ　代表取締役

はらゆうじ：1966年東京生まれ。大手メーカーの試作現場、開発部門を経験。その後、金型用3次元CAD/CAMメーカーに転職し、技術研究部、開発責任者、IR担当などを担当。また1999年社内ベンチャーでリアルファクトリー社を創業し、切削RP(Rapid prototyping)を提唱し「机の上でモノづくり」を推進。2006年にCAD/CAMメーカーを退職し、3Dツールの販売とコンサルティングを中心としたケイズデザインラボ社を設立。2012年「デジタルシボD3テクスチャー」で東京都ベンチャー技術大賞奨励賞を受賞。同年３DスタジオCUBEをイグアス社と共同発案。ものづくりカフェ「FabCafe」と連携し渋谷道玄坂にてモノづくり体験スペースを運営。現在「日経ビジネスオンライン」にて3D関連のコラムを連載中。

澄川 伸一

プロダクトデザイナー、JIDA 会員
澄川伸一デザイン事務所代表

撮影　望月 孝

すみかわしんいち：1962 年東京生まれ。1984 年千葉大学卒、ソニー（株）デザインセンター、1997 年よりソニーアメリカデザインセンターにて、ウォークマン、ラジオなどをデザイン、1992 年に澄川伸一デザイン事務所設立。医療、通信、測定機器から浴槽、日用品、地場産業のクラフトまで広い範囲をデザイン。三次元 CAD を活用し、機能を持った有機的な面構成を得意とする。世界 57 カ国の滞在経験をいかして、固定概念にとらわれないデザインを実践。デザインコンペ受賞多数あり、最近では2012年度レッドドット受賞　作品の多くが英国インターナショナルデザインイヤーブックに収録。二級建築士。グッドデザイン賞　審査員ユニット長を歴任。

■ 申込先：公益社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会事務局
東京都港区六本木 5-17-1 AXIS ビル 4F
TEL：03-3587-6391　E-mail：jidasec@jida.or.jp
URL：http://www.jida.or.jp

■ 会場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
東京ミッドタウン ・タワー5F　（東京都港区赤坂9-7-1）
TEL：03-6743-3779
URL：http://www.liaison-center.net/

■申込方法：下記にご記入の上、JIDA 事務局宛にメールか FAX にてお申し込みください。
折り返し JIDA 事務局より参加費の振込口座等をお知らせいたします。
（先着 90 名様までお受けいたします）

Fax : 03-3587-6393

□所属　JIDA 会員 2,500 円　一般 3,500 円　学生会員 1,000 円　学生 1,500 円　＊いずれかを○で囲んでください

□氏名

□勤務先、学校名

□住所

□ TEL　□ FAX　□ E-mail